

山ぼうし

第43号 平成20年10月31日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



生活とは、つまり習慣の織物である

校長 兼 平 栄 補

今年度の就職試験も内定率90%となり、学校斡旋による就職希望者はあと8名を残すまでに至っている。今年度は、学力不足で不合格になったり、欠席や遅刻が多いなど、基本的な生活習慣が確立されていないために不合格になった者が例年以上に多くなった。

今後は、アメリカ合衆国発の金融不安の衝撃波による様々な影響が、採用状況にも及ぶものと思われる。端的に言うと、雇用の縮小と採用基準の厳格化である。新聞紙上には、この影響がここ数年継続すると掲載されている。このままの状況が続けば、高校を卒業出来ても就職できないケースもあり得る。下級生はこのことを踏まえ、学習習慣を含む基本的な生活習慣確立に努めなくてはならない。

ところで、本校生徒に限らないが、日本人の風俗習慣がこのところ急激に変わってきたようだ。デジタル時代になって、アナログ時代のものが不要になったのに似て、美德とされてきた日本人の礼儀作法や人間関係の在り方まで捨て去られようとしていると感じられる。人間としての在り方が自分本位になったのだ。人の目が気にならない。提出期限などの約束事は守らない。道路一杯に広がって走行する。授業態度や自分の努力不足に起因する不成績を他人のせいにする。服装の悪さをとがめられても、人に迷惑をかけていないと開き直る。自分の願望が叶えられないとキレる。要するに「自己チュー」なのである。

こうした生活が積み重なって動かしようのない習慣が出来上がる。乱れた生活習慣で織られた織物は、補修のしようがないほど「丈夫」である。「習慣を軽んじると人間も社会も破滅する」と言えば、言い過ぎであろうか。

よい習慣を身につければ、人格も立派にみがき上げられる。古くからいわれるように、人間は習慣の寄せ木細工であり、習慣は第二の天性なのである。悪い習慣を根だやしにするのは、厄介で、しかもいっそうの苦痛を伴うことが多い。「立派な習慣を身につけるよう気をくばるのが、いちばん賢明な習慣」なのである。

悪い習慣をやめることも自分にとって、とてもいいことであるが、実際には難しいことが多い。努力しても、「やめられない。(自分はダメだ)」などと落ち込み、自信をなくすことになってしまうこともある。

『われわれは消極的に悪い習慣を捨てようと努力するよりも、むしろ常に良い習慣を養うように心掛けねばならぬ』(ヒルティ)との言葉のように、よい習慣をつくることに力を注いだほうがよい。「(心がけが続けば)習慣は身につけられる」と信じ、よい習慣を一つ一つ、少しずつ身につけていけたらいいのである。その習慣が人格を磨くようなものの場合、時を経ればそれだけ自分の人格を高めていける。たとえば、読書の習慣、人から学ぼうとする習慣、目標をもって努力する習慣、幸せにしたい人の幸せを考える習慣、自省の習慣などは、継続することで自分を高めていくことにつながるのである。

『はじめは人が習慣を作り、それから習慣が人を作る』(ドライデン)

『心が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。』

11月行事予定

11月	5日(水)	献血
	6日(木)	防災訓練
	13日(木)	生徒会議案書審議
	14日(金)～18日(火)	第3期定期試験
	20日(木)	後期生徒総会
	21日(金)	校内課題研究発表会



ロボット競技大会報告

9月26日(金)に本校第一体育館において、平成20年度第8回校内ロボット競技大会が開催されました。大会に出場したロボットは、機械科の「IRISA」、「常勝」、電気電子科の「プロジェクトR」、建築設備科の「Facility 6号」の合計4台です。大会には、赤前小学校と津軽石中学校の児童・生徒約60名を招待し、出場ロボット4台に大きな声援をいただきました。

今年の大会のテーマは全国大会開催地の大阪にちなんだもので、たこ焼きに見立てたバレーボールを数々の障害物を乗り越えて運び、大阪城にあたるたこ焼きプレートにたどり着いて、ボールでどれだけビンゴを完成させることができるかを競うものです。例年と比べて難易度が高いこともあり、各チームともボールの取り込みや障害物に苦戦していましたが、プレートにボールが置かれてビンゴが完成すると会場から大きな拍手が起こりました。校内大会の優勝は建築設備科の「Facility 6号」でした。

翌週の10月3日(金)には二戸市でロボット競技県大会が行われ、校内大会と同じ4台が参加しました。予選を4台中3台が通過して決勝トーナメントに進みましたが、全国大会出場が決まる準決勝までに3台とも敗退しました。中でも電気電子科の「プロジェクトR」が予選をトップで通過するなど、全国大会出場レベルにあっただけに残念な結果でした。この悔しさを来年に繋げてほしいと思います。



インターンシップ終了する！

10月8日(水)～10日(金)と、10月14日(火)～16(木)のそれぞれ3日間、2年生113名を対象としてインターンシップ(就業体験)が実施されました。

インターンシップは「宮古市内(下閉伊地区)の事業所において就業体験をすることにより、地域の産業を理解し、望ましい勤労観・職業観を養うとともに、進路意識の高揚を図る。」という目的で平成13年度から実施し、今年度で8回目となります。本校ではインターンシップは総合的な学習の時間に位置づけて、他の教科の科目と同じように単位として認めています。

インターンシップ期間中、生徒は会社の就業時間に合わせて出退勤し、社員の方の指導もと作業を見学をしたり、実際作業を行ったりしてきました。終了後、生徒の書いた感想を読みますと「あいさつの大切さ」、「社員の方の仕事に取り組む真剣さ、厳しさ」などを肌で感じてきたようで、来年度の進路の実現に向けて得るものが大きかったようです。

また、会社側からのアンケートをみますと「あいさつの声が小さい」、「コミュニケーションをうまく取れない」、「服装がよくない」などの反省点があげられています。指摘のあった点については今後、学校側でも改善するように指導していきたいと思います。

